

農業委員会だより

令和元年

10月

第73号

発行：東海市農業委員会
編集：みのり編集委員会

みのり



皆様、こんにちは。東海市役所農務課です。

現在、東海市が進めているさまざまな農業政策の中から、今回は、「夕焼け姫の産地化・ブランド化に向けた取組」について、ご紹介させていただきます。

夕焼け姫とは？

東海市果樹振興会の会員の皆様は、耳にされたことがあるのではないのでしょうか？

「夕焼け姫」とは愛知県農業総合試験場が独自に開発した柑橘の新品種です。

夕焼け姫の特徴は？

特徴は、何ととってもその色。名前のとおり、夕焼けのような濃いオレンジ色をしています。他

の品種と比べても目を引くため、多くの消費者から、好まれることが期待されています。

また、市内で多く生産されている「宮川早生」より、約2週間程度早く収穫できるため、市場優位性があり、高値での取引が期待されている品種です。



色鮮やかな夕焼け姫(写真下)
写真上は宮川早生

栽培には工夫が必要？

県や東海市果樹振興会みかん部会の皆様の試験栽培の結果、宮川早生とは異なり、色味やうま味を良くするためには、畑にタイベックシート(防水性シート)を敷き、水

分を抑制する栽培を行う必要があると言われています。

産地化・ブランド化に向けた東海市の取組みは？

令和元年12月に、農業センターが加木屋町の向山区内に試験ほ場を借り入れ、東海市果樹振興会有志の方からの協力を得て、実際の農業経営に則した試験栽培を行う予定です。

試験栽培の結果は、市内生産者の皆様に夕焼け姫の栽培に取組んでいた方が、公表させていただきます。

また、産地化・ブランド化に向けて(苗木・タイベックシート購入費補助など)各種支援を検討してまいります。

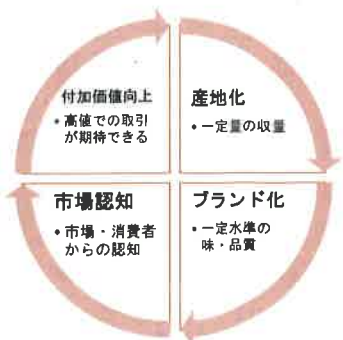
結び

本市では、愛知県、あいち知多農業協同組合などと連携・協力しながら、

夕焼け姫の産地化・ブランド化に向けた生産者の皆様の取組みを支援していきます。

この機会をチャンスと捉えていただき、新品種「夕焼け姫」の生産を始められてみてはいかがでしょうか？

産地化・ブランド化の効果



タイベックシートを敷いた農地の状況

農業とは自然との 闘いか共存共生か 名和町 K・T

私は農大を卒業してから農業一筋で23年が経ちました。内緒の話なんです

地域の話題

すが就職するのは面倒くさいなあくらいで、農機具の維持に多額の費用がかかる。機械化はしたがほとんどやり方も変えずに現状維持の状態。これからは農業で収益確保となると、水

した。草管理は今後の課題です。またそれまではあまり考えていなかった畑の立地も重要だと気付きました。なぜだか葉の成長が早い畑もあり、それを考慮しての管理が重要だと感じました。今年も秋冬野菜の種まきが始まりました。品質の良い物を作っている自信はあるので、これらにより利益の出るよう考え、農業の発展のため努力していきたいです。



フキの袋詰め出荷への期待 荒尾町 小野 勇二郎

日本一を誇る知多半島のフキは、1902年頃より知多半島で本格的に栽培されるようになり愛知用水通水から栽培面積を広げ全国一となったが、現在では減少の一途をた

どっている。減少の原因はやはり後継者不足による生産者の減少と高齢化によるものであり、ある程度の機械化は進んできているものの肉体的負担は大きく後継者が減少している。

併せて出荷方法も従来と変わることのないラップ巻出荷であり、作業負担が大きく技術を要するラップ巻では新規の作業者の参入は困難である。そこで開発されたのが袋詰めでの出荷方法である。作業負担が少なく殆ど技術も要しない袋詰めは高齢者にも優しく、初心者でも製品造りの即戦力となり、また作業時間の短縮も見込める。

2年前から試験出荷を実施したが令和元年度産より希望者による本格出荷へと移行の予定である。この袋詰め出荷が軌道に乗れば、将来的には共同選果場での出荷体制ができ生産者はフキの栽培・



玉ねぎ栽培に思う 富木島町 K・K

我が家では玉ねぎが経営上の大きな柱となっていますが、これがなかなかうまくできません。とくに今年3月の玉ねぎが、いわゆる「とっくり」と言われる縦長で形の悪い玉ねぎが多かったのです。ほかの人もそういう玉ねぎが多ければ「やっぱり1〜2月に雨が少なかったから」と天候のせいにするのですが、どうもそれは違うようです。

ひよっとしたら毎年、玉ねぎだけの年1作を繰り返して連作障害が起きてくるのでは？と考

えました。余った苗を普段玉ねぎを作らない畑に植えておいたのが、きれいな形のものでできていたからです。一応、たい肥は毎回良質の完熟牛糞を取り寄せて入れましたが、袋入りのもので量的に足りていなかったのかもしれない。そこで今年6月に10トンの牛糞たい肥を半田から自分で運び、畑に撒きました。

たい肥の投入で連作障害にどれだけ効果があるものなのかわかりませんが、しかし、これで少しはマシな玉ねぎができるかな？と思うと、来年の収穫が今から楽しみで仕方ありません。

ところでたい肥を買いに行ったら、最近はいり肥を使う人がめっきり少なくなりました。酪農家も処分

地域の話題

の力にかけているこの頃です。



未来指向の楽しい 農業で収益確保 大田町 M・K

昨年三十八年間勤めた会社を退職し農業に転身することにした。経営規模は水稲15ha、果樹1.0ha。会社員時代は土・日及び会社勤務後の夜間を農業の時間に当てていました。天候に左右されるため十分な農業ができなく、体力的問題、家族への負担もあり、農業選任となった。

今までは目標を「農地の維持」と掲げ、多少機械化はしたがほとんどやり方も変えずに現状維持の状態。これからは農業で収益確保となると、水

稲・果樹では経営規模を10〜20倍に拡大とそれに合わせて人材確保・設備投資も必要で現実非常に厳しい。

今後は「楽しい農業で収益確保」をコンセプトとして現有農地を有効活用した果樹をベースに3年の方針決めと実行、5年で収益を上げる。具体的にはAI、ICTの検討、導入と新商品の開発、6次産業化を組み合わせた未来指向の新しい農業を目指す。そのための初期投資、運転資金援助とノウハウ、アドバイスなどの支援をJAにお願いしてチャレンジすることを考えている。



今そこにある危機 養父町 養父町心配症男

農業従事者の高齢化が

叫ばれて久しいが、未だ切羽詰まらずに考えたことのないのが地元の生産者組合も、あんなに元気だったあの人もこの人も時の流れには抗えず、だんだんその勢いが衰えて来るとは思いません。以前なら弱気になって後ろ向きな発言でもしようものならドヤシつければいい所が今ではいつ辞めてもいいなどと言う始末です！とは言え、早く担い手となる若者を育てていかないとある日突然に耕作放棄地が受け手の無いまま放置される日が来るのが不安になります。中間管理機構を利用して農地の集積を進めています。出し手と担い手のマッチングが上手く行く事が一朝一夕で出来るなど到底思われませんが、農業委員と推進委員が丁寧に話し合っている必要が現実となってきます！でも本当に必要なのは、担い手

私の農業のきっかけ 加木屋町 S・H



が継続的に育てていかなければいけないということ。それと無いと常に世代交代の危機を抱えた集積になってしまいました！補助金頼みの法人設立では限界があります。経営的に成り立つ法人に集積できるのが最高ですが、改善の策でも良いので、農協、行政、農業者が手を取って農地を守っていく事が必要だと思えます！そこまで危機は近づいています。真剣に考える時です。

私が農業をやることを決めたのは、両親がやっていた後に親類の方に誘われてやってもらっていま

したが、定年を機に自分でその後、田畑を守っていくと決めました。そして、地域の実行組合長や水利組合、愛知用水の役員をやり、皆様と交流関係が広がりました。農作業は最初は不安がいっぱいでしたが、先輩方のご指導、ご協力をいただいたことができました。農作業では、農機具が大きな力となりますが、故障が多く、困ったときには優しく農機具を貸してくださいましたので、なんとか農業を続けてこられました。今では少々ですが、お米、みかんを出荷できるまでになりました。



今後も農業の発展のため、頑張っていきたいと思えます。皆様今後ともご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

農業委員会活動

第1分科会

第1分科会は、7月22日から23日にかけて、農業委員7人で(株)富山環境整備始め2か所を視察してまいりました。

●(株)富山環境整備のスマート農業の視察

同社は、産業廃棄物処理業の資金と焼却排熱を利用した循環型農業にICT(情報通信技術)を導入し、トマト・花き・いちごなどの「スマート農業」に取り組んでいる大規模農場です。地域で発生した廃棄物の焼却排熱を、ハウスの照明や空調等の設備の電力として有効活用し、コスト削減につなげていました。トマト栽培は、特殊なフィルムを苗と養液との間に敷いたアメリック農法を採用していることでした。栽培計画も、ハウス毎に時期をずらすことで1年中収穫を可能に

してまいりました。

同社は2014年に、農作物の安定供給、県内の農業振興、雇用創出などが期待できることが認められ、農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業 富山県拠点」として広く世間に認められるようになりましました。

地域の廃棄物から発生した排熱から電力や熱が利用できるという最大の強みが同社のアグリ事業がこのように発展し注目されるようになった要因かと思われまします。



●富山市公設卸売市場へ視察

富山市の郊外に12.3haという広大敷地に3.85万㎡の建物を擁す

る富山市公設卸売市場があります。昭和48年に開設しましたが、時代のニーズへの対応や施設の老朽化などの課題を抱える市場です。

取扱量は、青果はピーク時の約1/2(地元産が10%程度しかない)、水産は約1/3に減少(殆どが漁港市場で配送)。取扱量激減の要因は、大手食品メーカーやスーパーなどが産地直送で仕入れていること、生産者のネット販売などが影響していると思われまします。将来的に大きな回復は見込めないとして施設のコンパクト化、一部の敷地を「市場施設」以外の用途で活用することを検討しているそうです。



第2分科会

第2分科会は、7月29日から30日にかけて、農業委員7人で神奈川県鎌倉市農業委員会始め3か所を視察してまいりました。

●鎌倉市農業委員会へ訪問

同市は、遊休農地解消活動に力を入れていました。農業委員会・農協・市職員が一丸となって毎年1か所程度遊休農地を整理・作付けを行ってまします。

また民間企業も社会貢献の一環として遊休農地解消活動をしているとのことでした。



●豊洲市場へ視察

同施設は、青果棟・水産卸売棟・水産仲卸売棟・管理施設棟が配置されています。

見学者デッキも設けられ、マグロのせりを見学できました。朝早くから観光客で賑わっていました。



●JA東京アグリパークへ訪問

同施設は、イベント週替わりで開催し、各地方の情報発信拠点として活動しています。視察に伺ったときは、小学生向けのワークショップを行っていました。

第3分科会

第3分科会は、7月11日から12日にかけて、農地利用最適化推進委員8人で三田市農業委員会始め2か所を視察してまいりました。

●三田市農業委員会へ訪問

同市では、三田市の農業の概要のほか、三田市農地バンクの取組みなどの



農家、市、農協が連携し、問題解決や情報発信をしている様子を見学して、改めてその重要性を学ぶことができました。今後の東海市での活動の参考にしていきたいと思ひます。

説明を受けました。

三田市は兵庫県の南東部に位置し、神戸市の市街地から北へ約25km、大阪市より北西へ35kmと、関西圏のベッドタウンとして昭和62年から平成8年まで10年連続人口増加率1位となり、人口も3万人から11万人へと急増しています。

その中で農地の約9割が田で、米作りを中心としています。この特徴を生かして、さんだ地産地消プロジェクトとして、市内に転入してきた世帯に対し、地元のお米「三田米」と交換できるお米引換券を配付したり、学校給食の米や野菜についても、地元の生産組織の一つである学校給食部会を通して率先して提供するなど、地産地消に取り組んでいるそうです。

また、農業従事者の高齢化や担い手不足が問題となっており、農地バンクやNPO法人を設立して

農地の集積・集約化、遊休農地対策に取り組んでいるとのことですが、目標達成にはなかなか難しいとのことでした。



●公益社団法人兵庫みどり公社へ訪問

同社では、農地中間管理機構について説明を受けました。兵庫みどり公社では、「いきいき農地バンク方式」について説明を受けました。

高齢化や担い手不足などにより将来への農地の維持に不安のある地域に対して、必要とする農地の全てを一括して地域の担い手(集落営農法人・認定農業者)に貸し付け、活

用していただく方式です。また、農地の貸し手用、担い手用、制度説明用のチラシや、説明用のマングを作成し、制度のPRを行っています。



今回の視察で感じたことは、農業従事者の高齢化や担い手不足は全国的な問題となっており、それぞれ知恵を使って解消に向けた努力をしていること、また、そのためには、農業者・市・関係機関それぞれが役割を持ち、東海市の特色を活かした農業振興、担い手の育成に努めていくことが必要だと感じました。



農地は農業を営むうえでとても大切な財産であります。

農地を住宅や店舗・駐車場など農地以外の用途に使用する場合は、農地法の転用許可(市街化区域の場合は届出)が必要です。

許可を受ける前に無断で農地を転用すると、農地法違反になり工事の中止や原状回復等の命令がなされる場合があります。

又、転用により周囲の農地や周辺住民に、悪影響を及ぼしかねませんので事前に農業委員会事務局までご相談ください。

TEL

052-603-2211(代表)

又は

056233-1111へ

農業フェスティバル
2019開催のお知らせ

東海秋まつり2019
の中で、農業フェス
ティバル2019を次の
とおり開催します。

「元気なまち 魅力発見 東海秋まつり」

魅力発見

東海秋まつり

●とき

11月2日(土)～3日(日)

午前10時～午後4時

●ところ

東海市民体育館及び元

浜公園

●主な内容

◎洋ラン、果物、野菜等の

品評会及び洋ラン、果物、

野菜等の即売会

◎芸能ショウ(大正琴・手

話コーラス)

◎おこしもの体験(無料)

◎食べ歩きコーナー(みた

らしだんご、ボン菓子、焼

きいもなど)

◎花の苗、ふき・ナス・カリフ

ラワーなどを無料配布
します。

その他にも東海秋ま

つり2019として、産

業まつり、消費者広場、

インターナショナルデー、

文化祭、製鉄公園会場

イベント等の催しが同時

開催されます。

●なお、駐車場スペースが

十分ありませんので、車

で来場の方は乗り合わ

せていただくか、公共交

通機関やシャトルバスを

ご利用ください。

シャトルバスは、東海市役

所⇄製鉄公園⇄東海市

民体育館⇄太田川駅東

口⇄東海市役所を巡回

します。

●詳しくは、東海市立農

業センターへお問い合わせ

してください。

電話 052-601-8731

東海フラワーショウ
2020
を開催します。

今年度の東海フラワーショ

ウでは、東海市制50周年を

記念した、スペシャルな催し

や展示を行います。

●とき

令和2年1月25日(土)

午前10時～午後5時

令和2年1月26日(日)

午前9時～午後4時

●ところ

東海市民体育館

NHK「趣味の園芸」で

お馴染みのお二人からレ

クチャーを受けられます

1月25日(土)には、

愛知県豊田市にあるガー

デニングミュージアム

「花遊庭」のヘッドガー

デナー、天野麻里絵さん

による寄せ植え講座を、

翌日26日(日)には、洋

ランに造詣が深い園芸家、

江尻宗一さんによる園芸

講座を開催します。お二

人から直接レクチャーを

受けることができる貴重

な機会に、ぜひご参加く

ださい(要事前申込み)。

「Tokaiこども花

店」を今年も開催

らんの花大使・春風弥

里さんのプロデュースイ

ベント「Tokaiこど

も花店」は、子供達が接

客やラッピング等、お花

屋さんになりきって、来

場者にお花をお渡しする

体験イベントです。今年

度は2日間に拡大して開

催します(要事前申込み)。

メインブースも華やかに

東海フラワーショウの

会場は、東海市花卉園芸

組合員の皆さんによる、

洋ラン・観葉植物等で飾

り付けたブース展示が大

きな見どころの一つです。

市制50周年の今回は、メ

インブースが例年以上に、

華やかに彩られますので、

ご期待ください。

※各イベントの事前申込

み期間・方法等、詳細は

広報とうかい12月1日号

をご覧ください。

▽問合せ先 市役所農務

課(5階)

電話 052-603-2211

0562-33-1111

賃借料情報について

(金額の単位:円)

| 畑(玉ねぎ) | 平均金額 10a当たり | 最高金額 10a当たり | 最低金額 10a当たり | 実績件数 |
|--------|----------------|----------------|----------------|------|
| 平成30年度 | 9,000 | 12,000 | 6,000 | 2件 |
| 平成29年度 | 9,400 | 20,000 | 6,000 | 5件 |
| 平成28年度 | 11,000 | 21,000 | 6,000 | 6件 |

平成30年度賃借件数38件の内、36件が使用貸借による権利の設定
平成29年度賃借件数61件の内、42件が使用貸借による権利の設定
平成28年度賃借件数98件の内、72件が使用貸借による権利の設定
平成28年、29年は、多種にわたるため玉ねぎのみを記載



**全国農業新聞の
ご購読を!**

農業経営の情報紙として、「国の農業政策を知り、営農と生活の指針に」役立つ全国農業新聞をご購読下さい。

- ◇発行日: 毎週金曜日
- ◇購読料: 月額700円(送料共)
- ◇問合せ: 農業委員会事務局へ